

平成 18 年度ルート活動報告に対する助言（案）について

〔平成 18 年度の報告〕

- ・平成 18 年度 3 月 31 日、第 1 次、第 2 次指定の「支笏洞爺ニセコルート」「大雪・富良野ルート」「東オホーツクシーニックバイウエイ」「宗谷シーニックバイウエイ」4 ルートより、シーニックバイウエイ北海道実施要項（第二十条 第一項及び、第三項）に基づき、ルート運営状況が報告された。なお、第 3 次指定の「函館・大沼・噴火湾ルート」「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ」については、指定より一年未満であり、平成 18 年度については参考報告とし、助言の対象としないこととする。

〔報告への対応〕

- ・推進協議会は、シーニックバイウエイ北海道実施要項（第二十条 第四項）において必要に応じ「ルート運営の改善」に関する助言を行うことができることとされている。

【①推進協議会からルート代表者会議への助言（案）】

- ・変動する社会情勢を踏まえつつ、ルート運営活動計画の更新を検討されたい。

ルート運営活動計画は各ルートにおける取り組みの基本となるものであることから、「急増する外国人観光の対応」や「地球環境への配慮」等の社会的要請を踏まえ、ルート運営活動計画に追加検討をする必要がある。併せて、各ルートにおいて抱える課題、目標、活動状況に応じて計画内容の更新、改訂などを行い、ルート全体での理念・活動指針を改めて明確化する必要があることを助言とする。

【②推進協議会から行政連絡会議への助言（案）】

- ・ルート運営の更なる充実に向け、各ルートの状況に応じて、行政連絡会議における積極的な取組を期待する。

各ルートの活動において、既に拡大された取組や、今後の拡大が見込まれる取組を視野に入れ、ルートの状況に応じた行政連絡会議の構成機関追加の検討や、他ルートでの取組事例も参考にしながら、より積極的な取組を行う必要があることを助言とする。

〔助言にあたって〕

- ・推進協議会は、シーニックバイウエイ北海道実施要項（第二十条 第五項）において助言を行うときには、あらかじめルート審査委員会の意見を聴くこととなっている。

【審査委員からの意見】

- ・特段の意見はなし

ただし、審査委員の方々から、平成 18 年度活動報告を踏まえた感想として別紙を参考意見として添付する。

別紙：平成 18 年度ルート活動報告に対する参考意見

1. 支笏洞爺ニセコルート（平成 17 年第 1 次指定）

§ 視点 1 ルート運営活動計画にもとづく活動状況について

- ・平成 18 年度、ルート運営活動計画に基づき、実際に取り組みが行われているか。また、活動内容についての感想等 *実施活動は、活動 No にて概要を整理

◎ 景観づくり活動に関する感想

- ①参加活動団体が様々な活動を多様に展開しているが、ルート（各エリア）全体を貫く哲学・理念・コンセプトがやや希薄になりつつあり、散漫な活動の集合とまらないルート連携への工夫・努力が必要である。（シーニックナイトのみならず・・・）
- ②沿道の美化や沿道景観の利活用と同時に、景観創造へと踏み込んで行く活動の初動的な活動（樹木の植栽、景観疎外物撤去など）が見られた事を評価したが、外部評価も加えて行政と連携しつつ着実に展開する事が不可欠。

◎ 地域づくり活動に関する感想

- ①人材育成が重要であるが、「目標」「アウトカム」「システム」などについて、踏み込んだ整理が必要である。また、エリア間の連携・交流の“広がり”と“深まり”を期待したい。
- ②持続的な地域力の維持・向上と地域人の育成には、（地域社会と一番関係の薄い）「高校生」の参加が不可欠である。都会への人材供給の場となり続けられないよう！

◎ 観光振興活動に関する感想

- ①多様な観光振興活動が展開されているが、本当に地元が潤っているのだろうか？新規参入者や外部企業（大手観光業者）などのみが果実を得てはいないだろうか？
冷静な目で、具体的な指標と数値に基づいて、外部・第三者の評価も加えて、確認する事が重要。
- ②特に、来年度のサミットの影響はきわめて大きい。全国の観光業者に囲いかまれないような、地元が主体性を失わない観光振興の理念と規範、行動計画を強く期待する。

★ その他、特に注目する活動

活動 No	【理由】
・「シーニックナイト」	・国際性（化）を秘めた連携事業である。
・「エキノコックス駆除」	・食の安全、生命環境を支える基盤的な活動である。

◎ 行政の取り組みに対する感想

- ①シーニック活動団体および開発局・道・基礎自治体（7町村）による、景観形成ガイドラインを地域の意志でつくりあげ、景観法にもとづく地区指定へと展開してきた事は、全国的にも高く評価できる。

§ 視点2 ルート運営状況について

- ・ ルート運営活動計画の基本方針に基づく、会議の開催、事務局体制等の運営状況について。

◎地域の運営状況について

①エリアをベースにした活動団体個々の自立性とルート全体を通低する‘特徴’‘独自性’を一層かつ明確に、魅力的にするための「運営体制」「理念・コンセプト」、「行政・住民との連携」を見直しつつ、つくりあげてほしい。

◎行政の運営状況について

①「国（局）」「道（支庁）」「基礎自治体（首長）」「外部第三者」などによる、連絡会をクリエイティブに行うべきあろう。評価、水準、アドバイスなども含めて。

§ 視点3 審査委員会への意見に対する地域及び、行政の取り組みについて

- ・ 指定時に審査委員会より付帯された意見について、平成18年度地域、行政それぞれがどのような取り組みを行ったか。

◎審査委員会の意見に対する地域の取り組みについて

①進捗状況や現時点での到達点が不明であるが、より一層また継続的に伸張させ、具体的な成果をしめしてほしい。

◎審査委員会の意見に対する行政の取り組みについて

①「活動団体」＋「行政担当者」の意見交換・運営会議のほかに、「行政トップ」＋「審査委員会」などとの創造的な意見交換（サミット？）を実施すべきではないか。

§ 視点4 その他、感想等

- ・その他、現地を訪れた際、フォーラムでの発表やコミュニティーメール・ホームページでの情報発信等、全般的な当該ルートのご感想

◎活動状況に関する感想

- ① 特定の団体・集団、リーダーにのみ依存するのではなく、多くの住民が参画・参加できる、シーニックバイウェイへと結びつけ、地域力の再生・行勢力の再生を一層意識して、展開してほしい。
- ② 「田園地域（ラーバンエリア）」の再生が、北海道の今後のキーエリア（ターゲットエリア）であることを意識して、国際的に情報を発信してほしい。

◎運営状況に関する感想

- ① 特定の団体・集団、リーダーにのみ依存するのではなく、多くの住民が参画・参加できる、シーニックバイウェイへと結びつけ、地域力の再生・行勢力の再生を一層意識して、展開してほしい。

・その他全般的な感想

2. 大雪・富良野ルート（平成 17 年第 1 次指定）

§ 視点 1 ルート運営活動計画にもとづく活動状況について

- ・平成 18 年度、ルート運営活動計画に基づき、実際に取り組みが行われているか。また、活動内容についての感想等 *実施活動は、活動 No にて概要を整理

◎ 景観づくり活動に関する感想

①沿道の美化や花の植栽、既存の沿道景観の利活用と同時に、景観創造へと踏み込んで行く活動の初動的な活動（廃屋や看板などの景観疎外物撤去など）が見られた事を評価したいが、外部評価も加えて行政と連携しつつ、水準を明確にしながら、着実に展開する事が不可欠。

◎ 地域づくり活動に関する感想

①参加活動団体が様々な活動を多様に展開しているが、ルート全体を貫く哲学・理念・コンセプトがやや希薄になっている事も否めず、コリドーとして散漫な活動の集合とならないルート運営の工夫・努力とマネジメント能力の蓄積・向上が必要・不可欠である。

◎ 観光振興活動に関する感想

①参加活動団体が様々な活動を多様に展開しているが、ルート全体を貫く理念・コンセプトがやや希薄になっていないだろうか？
②多様な観光振興活動が展開されているが、本当に地元が潤っているのだろうか？新規参入者や外部企業（大手観光業者）などのみが果実を得てはいないだろうか？ 冷静な目で、具体的な指標と数値に基づいて、外部・第三者の評価も加えて、確認する事が重要。

★ その他、特に注目する活動等

活動 No	【理由】
廃屋・看板撤去	・ 地域住民による、景観型エリアマネジメントシステムへと展開が考えられるため。

◎ 行政の取り組みに対する感想

「中間法人シーニックバイウェイ大雪富良野ルート」と「関連行政団体（とくに地元の基礎自治体）」との相互信頼性を構築する事が重要であるが、今後を期待したい。これは、行政へ・・・というよりも、中間法人への期待・要望である。

§ 視点2 ルート運営状況について

- ・ ルート運営活動計画の基本方針に基づく、会議の開催、事務局体制等の運営状況について。

◎地域の運営状況について

「中間法人シーニックバイウェイ大雪富良野ルート」と「関連行政団体（とくに地元の基礎自治体）」との相互の信頼性を構築する事が重要であるが、今後の運営の力の蓄積と向上、そして責任を期待・要望したい。

◎行政の運営状況について

「中間法人シーニックバイウェイ大雪富良野ルート」と「関連行政団体（とくに地元の基礎自治体）」との相互信頼性を構築する事が重要であるが、今後、忌憚のない情報交流・意見交流を期待したい。

§ 視点3 審査委員会への意見に対する地域及び、行政の取り組みについて

- ・ 指定時に審査委員会より付帯された意見について、平成18年度地域、行政それぞれがどのような取り組みを行ったか。

◎審査委員会の意見に対する地域の取り組みについて

「中間法人シーニックバイウェイ大雪富良野ルート」と「関連行政団体（とくに地元の基礎自治体）」との相互信頼性を構築する事が重要であるが、現時点では、まだ途上であると思われる。
人材育成・補完もふくめてのアクションを期待したい。

◎審査委員会の意見に対する行政の取り組みについて

「活動団体」＋「行政担当者」の意見交換・運営会議のほかに、「行政トップ」＋「審査委員会」などとの創造的な意見交換（サミット？）を実施すべきではないか。

§ 視点4 その他、感想等

- ・その他、現地を訪れた際、フォーラムでの発表やコミュニティーメール・ホームページでの情報発信等、全般的な当該ルートのご感想。

◎活動状況に関する感想

①景観の利活用から、景観の創造へのステージが求められる。

多様な活動団体との密な連携・協働そして指導をおこないつつ、第三者の目も利用しつつ国際的なスタンダードを希求しつつ、高質なシーニックバイウェイの創造を行っていただきたい。

◎運営状況に関する感想

①景観の利活用から、景観の創造へのステージが求められる。

多様な活動団体との密な連携・協働そして指導をおこないつつ、第三者の目も利用しつつ国際的なスタンダードを希求しつつ、法人の運営を行っていただきたい。

・その他全般的な感想

3. 東オホーツクシーニックバイウェイ（平成 17 年第 1 次指定）

§ 視点 1 ルート運営活動計画にもとづく活動状況について

- ・平成 18 年度、ルート運営活動計画に基づき、実際に取り組みが行われているか。また、活動内容についての感想等 *実施活動は、活動 No にて概要を整理

◎ 景観づくり活動に関する感想

①参加活動団体が様々な活動を多様に展開しているが、ルート（各エリア）全体を貫く哲学・理念・コンセプトを忘れずに、拡散的な活動の和集合とならないルート活動の意思や思いの共有化と連携への工夫・努力がより必要である。

◎ 地域づくり活動に関する感想

①歴史、文化を意識した活動と運営を期待したい。

◎ 観光振興活動に関する感想

①「世界遺産（自然）とその後背地」のワイズユースによる、わが国のモデルとなるような観光振興活動を強く期待する。
「観光地域」と「地域観光」は似て非なるものである事を強く意識して、地元（古くからの地域住民）が潤う地域観光振興活動を！

★ その他、特に注目する活動等

活動 No	【理由】
フォトコンテスト	「景観（光景・風景・情景）の資源とその水準の共有化」
学生との連携	「地域と大学」の連携は国家も後押ししている。
HPの拡充	「HP上のシーニック資源のマップ情報化の充実」

◎ 行政の取り組みに対する感想

①開発建設部、支庁、基礎自治体が協働で取り組んでいる姿勢と意欲を評価したい。

§ 視点2 ルート運営状況について

- ・ルート運営活動計画の基本方針に基づく、会議の開催、事務局体制等の運営状況について。

◎地域の運営状況について

①NPOサポートセンターのこれからの運営能力の蓄積・向上を強く期待したい。
事務局体制の試行モデルでもありますので……。

◎行政の運営状況について

① 今後も、連絡会議の活性化と、首長・外部識者などを含めた、ルートサミットなどを積極的に実施し、意識やコンセプト、役割分担などについて共有化をすすめていただきたい。

§ 視点3 審査委員会への意見に対する地域及び、行政の取り組みについて

- ・指定時に審査委員会より付帯された意見について、平成18年度地域、行政それぞれがどのような取り組みを行ったか。

◎審査委員会の意見に対する地域の取り組みについて

①参加活動団体が様々な活動を多様に展開しているが、ルート（各エリア）全体を貫く理念・コンセプトを忘れずに、拡散的な活動の和集合とならないルート活動の意思や思いの共有化と連携への工夫・努力がより必要である。

◎審査委員会の意見に対する行政の取り組みについて

連絡会議の活性化と、首長・外部識者などを含めた、ルートサミットなどを積極的に実施し、意識やコンセプト、役割分担などについて共有化をすすめていただきたい。

S 視点4 その他、感想等

- ・その他、現地を訪れた際、フォーラムでの発表やコミュニティーメール・ホームページでの情報発信等、全般的な当該ルートの感想をご記入下さい。

◎活動状況に関する感想

- ①「世界遺産（自然）とその後背地」のワイズユースによる、わが国のモデルとなるような観光振興活動を強く期待する。
「観光地域」と「地域観光」は似て非なるものである事を強く意識して、地元（古くからの地域住民）が潤う地域観光振興活動を！
- ②多様な観光振興活動が展開されているが、本当に地元が潤っているのだろうか？新規参入者や外部企業（大手観光業者）などのみが果実を得てはいないだろうか？
冷静な目で、具体的な指標と数値に基づいて、外部・第三者の評価も加えて、確認する事がきわめて重要である。

◎運営状況に関する感想

- ①参加活動団体が様々な活動を多様に展開しているが、ルート（各エリア）全体を貫く哲学・理念・コンセプトを忘れずに、拡散的な活動の和集合とならないルート活動の意思や思いの共有化と連携への工夫・努力がより必要である。
- ②NPOサポートセンターのこれからの運営能力の蓄積・向上を強く期待したい。
事務局体制の試行モデルでもありますので……。

・その他全般的な感想

4. 宗谷シーニックバイウェイ（平成 18 年第 2 次指定）

§ 視点 1 ルート運営活動計画にもとづく活動状況について

- ・平成 18 年度、ルート運営活動計画に基づき、実際に取り組みが行われているか。また、活動内容についての感想等 *実施活動は、活動 No にて概要を整理

◎景観づくり活動に関する感想

- ①住民・企業の景観意識醸成に関する地道な副活動を続けるとともに、「美しい景観は、産業や食の提供へと繋がるという視点も意識した活動の展開を期待したい。
- ②担い手となる企業市民を育成して行く必要がある。

◎地域づくり活動に関する感想

- ①人材育成、活動団体強化、を意識した活動をきたしたい。
- ②外部（国・局など）に依存しない、自主性の高い活動と活動団体を期待したい。
- ③持続的な地域力の維持・向上と地域人の育成には、（地域社会と一番関係の薄い）「高校生」の参加が不可欠である。都会への人材供給の場となり続けられないよう！

◎観光振興活動に関する感想

- ①「身近な風景観光」に加え、国際的な潜在資源を活かした、国際的な水準をめざした「環境・光景観光」を展開してほしい。

★その他、特に注目する活動等があれば（活動 No=理由）

活動 No	【理由】

◎行政の取り組みに対する感想

- ①「国（局）」「道（支庁）」「基礎自治体（首長）」「外部第三者」などによる、連絡会をより頻度高く、クリエイティブに行うべきであろう。評価、水準、アドバイスなども含めて。。活性度が低い現状ではないか？

§ 視点2 ルート運営状況について

- ・ ルート運営活動計画の基本方針に基づく、会議の開催、事務局体制等の運営状況について。

◎地域の運営状況について

①代表者会議、行政運営会議それぞれが、より以上に連携・交流を行うべきである。
とくに、代表者会議には一層の連携・交流を期待したい。
外部との交流も積極的に実施していただきたい。

◎行政の運営状況について

①トップも交えた、クリエイティブな行政連絡会議にすべきではないだろうか？

§ 視点3 審査委員会への意見に対する地域及び、行政の取り組みについて

- ・ 指定時に審査委員会より付帯された意見について、平成18年度地域、行政それぞれがどのような取り組みを行ったか。

◎審査委員会の意見に対する地域の取り組みについて

①未着手、あるいは途上のように思う。先行の指定ルートとも、より一層の連携・情報交換などを行い、成果を見せていただきたい。

◎審査委員会の意見に対する行政の取り組みについて

①活動団体との情報交換が不足のように思われる。「活動団体」「行政トップ」「第三者」なども交えた、クリエイティブな行政連絡会議を着たいしたい。

§ 視点4 その他、感想等

- ・その他、現地を訪れた際、フォーラムでの発表やコミュニティーメール・ホームページでの情報発信等、全般的な当該ルートの感想をご記入下さい。

◎活動状況に関する感想

①外部の力（第三者や応援団など）を利用しては？

◎運営状況に関する感想

①事務的な運営（体制、内容）にはなっていないだろうか？

・その他全般的な感想